

佳作

すてきなともだち

荒川区立汐入東小学校二年

古賀 風祥

やなぎ田くに男先生へ

ぼくは、しお入ひがし小学校の二年生の男の子です。

学校のじゅぎょうの中で、「お手紙」の学しゅうをしました。かえるくんやがまくんの気もちをクラスみんなで考えたり、かえるくんやがまくんへお手紙を書いたりしました。

ぼくが一ばん気に入ったところは、かえるくんががまくんの話をきいて、すぐにいえに帰ってがまくんへの手紙を書いたところです。そしてかたつむりくんが、

「すぐやるぜ。」

と、いつてくれたところです。かえるくんはがまくんのことを思って、かたつむりくんはかえるくんのことを思って、すぐにこうどうにうつしてくれました。

かえるくんがお手紙をまっただ四日かんもそうぞうしてみました。

一日目は「もうくるかな」とワクワクしたと思います。二日目は、「早くこないかな」とドキドキしていたと思います。三日目は「まだかな」とソワソワしていたと思います。四日目は自分が手紙をだしたことをがまくんにつたえます。かえるくんはがまくんを元気づけたいからだと思います。

話を聞いたがまくんは目をキラキラさせたと思います。ぼくはその顔をそうぞうしてうれしくな

りました。

ぼくもお手紙をもらったことがなん回もあります。ながさきにすむおじいさんからの手紙です。手紙をよむときはいつもおじいさんの顔がうかびます。おじいさんも書くときにぼくの顔がうかんでると思います。

手紙はだすほうも、もらうほうもうれしくなります。

かえるくんのシリーズはほかのもすてきだけど、そのシリーズのなかでもぼくはこのお話がだいすきです。やなぎ田くに男先生もぜひ読んでください。